

上海の中国語スクールで出会った

二人の上海起業挑戦

～！35歳からの中国語留学いいたい放談！～

ELC代表が 訊く！

35歳にして上海で中国語留学をスタート。

中国との出会いは4年前の新疆ウイグル自治区。

2008年4月から中国語を勉強し始め、2008年9月、ついに会社を辞めて単身上海に乗り込んだ。そこから約半年の中国語の集中学習。

2009年4月、これまで学んだ中国語を使って上海で起業しようとしている元鉄道運転士の渡辺篤が、ELC卒業を機に中国語そして中国への熱い思いを語ります。お相手はもちろんELCの代表の浅野潤。スペシャルインタビューです。
(企画／構成 サムライチャイナ)



浅野 潤 (あさの・じゅん)

10年間の広告代理店営業マン時代を経て、
2001年から上海で暮らしている。

中国語スクール ELC 代表 1968年生まれ

(<http://ez-language.net>)



渡辺 篤 (わたなべ・あつし)

元鉄道運転士。

2008年4月からELCの受講生。

2009年4月にELCでの授業を全て修了。

通称「名古屋のナベアツ」。

中国に興味を持ったきっかけ



浅野：いやあ、お疲れ様でした。

渡辺：お疲れ様でした。

浅野：結局、何ヶ月間勉強したのかなあ、ナベさんは

渡辺：最初に ELC プチ留学に来てから数えると 1 年になりますね。去年の今頃ですから。

浅野：そうか。で、9 月の全日制コースからだ約半年ですね。

渡辺：そうなりますね。

浅野：半年でよくここまで話せるようになりましたね。中国語。

渡辺：ELC 純度 100%ですからねえ。

浅野：まず中国に興味を持ったきっかけを教えてくださいませんか。

渡辺：2004 年に新疆旅行に行ったのが中国とのかかわりの最初です。同時の同僚との二人旅でした。その同僚が少し中国語は話せたので、彼が中国語担当、僕は英語担当でしたね。

浅野：新疆って中国西部のイスラム的な場所やね。なんでいきなりそんなハードな場所を選んだの？例えば北京とか上海とか有名でメジャーな場所も沢山あるのに。

渡辺：駅の旅行会社のパンフレットで、タクラマカン砂漠の写真を見かけたんです。僕の旅というものの考え

の中に、「想像できないような光景を見る」というのがあるんですよ。例えばアメリカの観光名所ってほしい想像できるじゃないですか。ハリウッドの映画でもいくらでも観れるし。でも、タクラマカン砂漠って想像できなくて。だから行って見たかったんですよ。

浅野：想像できないから見てみたい。なるほどねえ。

中国語を勉強しようと思ったきっかけ

浅野：2008 年に新疆に行って中国語に触れたわけやけど、その後すぐに中国語を勉強しよう！という気持ちになったの？

渡辺：いや、すぐではないですね。実際、英語の勉強も途中でしたし。

浅野：じゃあその後、昨年 4 月に ELC にプチ留学に来たときは、もちろん 2004 年に行った新疆旅行のことも経験としてあったと思うけど、上海に来たという理由は何か？

渡辺：ああ、それはすごく明確なんです。桂林という場所に 2 週間ほど行きたかったんですけど、今度の旅は以前一緒にいた同僚が都合で来なくて、僕の一人旅だったんです。だから中国語はまったくダメですよ。英語がどこまで通じるのか？と不安があったので、まず 2 週間の休みのうち、最初の半分ぐらいを中国語の勉強の時間に当てようと思ったわけです。それで、短期留学できる学校をネットで探していて、ELC にたどり着いたわけです。

浅野：前半の中国語の勉強を、北京とか他の地域にしようかという選択肢はなかったの？

渡辺：北京という選択肢はなかったですけど、ひとつ迷ったのは広州ですかね。もし広州に中国語スクールがあれば、広州に行っていましたね。目的地の桂林に近いから。

浅野：なるほど。そっか広州は桂林に割と近いもんね。

ELC との出会い



浅野：そのときに ELC に決めた理由ってのがあれば参考までに教えてくださいな。

渡辺：まあ、5 日間って短い留学でも受け入れてもらえるって事と、あとコマ単位での支払いだから明瞭会計だなんて思ったことですね。

浅野：融通が利きそうな感じ？

渡辺：それは思いましたね。(笑)

浅野：で、結局桂林行ったんやっただけ？

渡辺：それが行ってないんですよ。結局 2 週間中国語を勉強してしまいました。(笑) それぐらいインパクトがあったわけですよ。レッスンは、日本で英語のレッスンにも通ってましたけど、日本で週に 1 回ぐらいやってるって所詮お稽古じゃないですか。上海に来て中国語を勉強すると、教室を出ても街に出ても中国語で、覚えた言葉がすぐ使える。これは刺激的でした。だから桂林はやめてずっとレッスンしてました。

浅野：広州までの航空券はどうしたの？

渡辺：有効期限があったから、今年の春節に使いました。広州経由で名古屋に帰っただけですけど。(笑)

長期休暇取得の秘訣

浅野：一般的なサラリーマンにとって 2 週間って休みは

なかなか取れないでしょ？当時ナベさんは電鉄社員だったわけで、どうやって取ったの？2 週間の有給休暇。

渡辺：僕たちの業界はちょっと特殊かもしれませんが、有給休暇完全消化が義務付けられているんですよ。基本的にいつ使ってもいいんですけど、年度末になると会社が勝手に決めちゃうんで、なるべく早めに計画するようにはしてましたね。あと、僕たちは 2 週間のうち 5 日間は休みなんです。だから有給と普通の休みをくっつけば 2 週間ぐらいなんとかなるわけです。

浅野：なるほど。ちょっと特殊な業界やからね。鉄道の運転手ってのは。

渡辺：まあそうですね。僕の場合は旅行が好きなので、なるべく休みを貯めておいてまとめて取って長期旅行に充ててました。

浅野：その時（4 月に 2 週間プチ留学に来た時）上海に来て、持ってきてよかったと思ったものはなんですか？

渡辺：やっぱりパソコンですかね。中国は思ったよりネット回線が充実しているので、情報収集には欠かせませんね。ホテルや食事の場所とかを探したりするものパソコンやモバイルツールがあれば非常に便利です。本でもいいんですが、やっぱり情報が古いですからね。

浅野：中国って、ネットとか通信面は意外と進んでるもんね。中国に来たことがない人は意外に思うかもしれないけど。

渡辺：そうですね。日本人は中国のこと過小評価してると思います。

浅野：そうそう、意外と進んでるよね。

渡辺：ええ。本当に。

中国語の勉強と上海生活

浅野：2008 年 4 月に来たとき、午前中は中国語のレッスンをしてましたけど、午後からは何してました？



渡辺：そうですね。最初に来たときは目に映るものすべてが新鮮でしたから、午後からはずっとブラブラと歩き回りましたね。夜遅くまで。

浅野：観光やね。

渡辺：観光というか、散歩かな。

浅野：ナベさんは散歩大好きやもんね。

中国語学習で苦労したこと

浅野：で、2008年4月に初めて中国語を勉強しだしてから、まあ1年になるわけやけど、この1年を振り返って、「中国語のココが難しい」という点はあるかな？たとえばナベさんは英語もそこそこ話せるけど、英語と比べて中国語は、とかでもいいよ。

渡辺：中国語特有の難しさは、やっぱり発音ですね。発音がそこそこできなければ、全く伝わらないし。短期間でこういうもんだって言われても、頭も体も理解できないんですよね。消化できないっていうか。2-3週間で発音を覚えるってのはなかなか難しいですね。これは中国の日常生活の中で、たとえばテレビとか街で聞こえてくる中国語を体の中に取り込まないとなかなか理屈では消化できないですね。

浅野：そうですね。発音は特に日本人にとっては大きなハードルですよね。

留学して初めて知った中国

浅野：中国に暮らしてみて、中国に来る前を印象が変わった点があります？

渡辺：中国に来る前は、「中国人は日本人が嫌いじゃないか？」という先入観があって、不利益を受けるんじゃないか？なんて思っていましたけど、実際はそうじゃなくて優しいですね。中国人って。僕は特に人とのコミュニケーションが得意だから自信はあったんですけど、あんまり親切なんで拍子抜けしましたね。日本人とか中国人とかそんなに過敏じゃないですね。

浅野：そうね。好きでもないし、嫌いでもないんちゃうかな？

渡辺：大好きじゃないでしょうけれど、あんまり偏見はないですね。割り切ってる感じもします。

半年間の中国語学習の達成度と満足度

浅野：ナベさんは、昨年の9月から仕事をやめて中国語の勉強に集中したわけやけど、ここ半年の中国語学習の達成度とか満足度に関してはどんな感想を持っていますか？

渡辺：まあ、僕の場合はELCの全日制コースに入って勉強したわけですけど、もっと追い込めたかな、とは思いますが。

浅野：相当勉強してたイメージやけどね。まだまだ追い込めた？

渡辺：例えば、全日制コースは午後3時に終わりますよね。朝から6コマレッスンを受けているわけですから、すでに相当疲れていて、3時に終わったらとりあえず休憩したいわけですよ。だから散歩に行ったりパソコンしたりクラスメートと遊んだりしてしまうわけ。それで夕食を食べて8時とか9時に寮に帰って明日の予習をするわけです。全日制コースの場合は予習が大事なので予習

は欠かせないんですが、やっぱり復習する時間をもう少し取ったほうがよかったかなと思っています。

浅野：そっか。でも中国人学生との相互学習もやってたよね？だからほぼ中国語漬けの毎日やったね。この半年は。

渡辺：そうですね。相互学習は会話力を鍛えるのにちょうどよかったです。



ズバリ、留学して良かった？

浅野：ちょっと総合的な話に移るけど、こういう留学という形で 35 歳から生活を一新したわけやけど、どうですか？よかったですか？

渡辺：それはもちろんですね。

浅野：いろいろあるよね、大人になってから留学すること。人生も大きく変わるし、新しい方向に一步大きく足を踏み出すわけやからね。どういう風によかった？

渡辺：実は前からこういうことを目指していて、会社の先輩とかにもいいアドバイスを受けていて、こういう風に進路を変えたいと思ってましたから。家族にもいつかはチャレンジするぞ、って宣言してましたから。怖かったのは、チャレンジせずに後で後悔することでしたから。なによりもこのタイミングでチャレンジできたのがよかったですね。

浅野：35 歳からの、っていうことに対しては？

渡辺：年齢は関係ないと思うんですよね。大事なのは変えたいという自分の気持ちを大事にすること。そう思います。よかったねと思う点は、ELC に中国語を勉強しに来る人の学習意欲の高さが、だいぶ刺激になりましたね。短期で来る人も長期で来る人も、みんな目的意識を持って取り組んでいるのにすごく啓発されましたね。大学でのんびり留学をやっている人とはぜんぜん違う感じですね。勉強するにあたって、周りの環境は大事ですね。

今後は上海で起業！

浅野：今日で ELC を卒業するわけやね。ナベさんの場合は仕事を辞めてきているわけやけど、ざっくりでいいから今後はどうするか？っていう目標を教えてください？

渡辺：この半年で上海で知り合った人たちが沢山います。そういった人たちと一緒に、上海で新しいビジネスを作ろうと考えています。まだアイデアの段階のものですが、2つ3つあるので、なんとか形にしていきたいなと思います。5年、10年先に今考えているビジネスが5倍、10倍のスケールになればそれが理想ですね。

浅野：これは私も興味があるし、ちょっとナベさんよりも先に上海でビジネスを始めたので、いろいろとアドバイスできると思います。是非、頑張ってください。

ELCへメッセージ

浅野：最後にちょっと宣伝っぽくなるんですけど、ELCに一言お願いします。

渡辺：僕は半分スタッフみたいに扱われてるから、なんとも言えない(笑)ですけど、ELCには愛着が人一倍あるので、ますます発展して欲しいですね。でも商業チックに金儲けに走らず(笑)、フレンドリーな感じを継続して欲しいです。

浅野：今のスタイルで生徒数を増やしていけるように頑張ります！お互いに上海で頑張りましょう。

(2009年4月16日 ELC A4 教室にて)



【渡辺篤を魅了した ELC の中国語プログラムは？】

<http://www.shanghai-elc.com/elc> の中国語プログラム/

ELC の中国語レッスンは、日本で忙しく働く方や、なかなか上海への渡航のチャンスがない方のために、ほぼ年中無休で開講しています。

グループレッスン

【中国語全日制コース】

開講：3月～5月/5月～7月/9月～11月/11月～1月

【春休みコース】

開講：2月

【GW ウィークコース】

4月末～5月初旬（GW 期間中）

【夏休みコース】

7月、8月

【年未年始コース】

12月末から1月初旬（お正月休み期間）



これらのコースは少人数制（8名以下/クラス）のグループレッスンです。

開講期間中の途中参加も可能ですし、料金も参加されたコマ数分しか頂きませんので、ご予約にあわせて気軽に参加していただけます。

クラスは、それぞれの方の中国レベルにあわせて入門、初級、中級という3クラスをお選びいただけます。

（レッスン開始後のクラスの変更は可能です）

マンツーマンレッスン

クラスレッスンではなく、教師とマンツーマンのレッスンがしたい！という方にはほぼ年中無休でいつでも申し込んでいただけるレッスンをご用意しております。

【プライベートレッスン】は、

平日 9:00-12:30(4コマ) 13:30-17:00(4コマ)

土日 9:00-12:30(4コマ)

上記の時間帯で、2コマ以上/日から申し込みいただけます。

マンツーマンレッスンの場合は、ご自身のレベルや目的に応じたレッスンを行うことができます。

例えば、発音の矯正、会話力の強化、HSK 対策など。

ELC のプログラムに関すること、中国語学習についてのこと、上海についてなどなんでもお気軽にお問い合わせください。あなたの中国語学習暦などを詳しく書いていただくと、より詳細な回答ができます。お問い合わせは、

info@ez-language.net へお願いします。